

通し行進者の方々、おおつか未来さん（港区雇用・福祉相談室長）などと平和行進



# 「核兵器廃絶めざす国際交渉開始を」の声を広げよう

## 新宿女性のつどい

### こんな政治ってひどいんじゃない！ 今こそ出番！ 日本共産党

4月29日、日本共産党新宿地区委員会などの主催で、「新宿女性のつどい」が開催され、会場いっぱいの130人が参加。雇用、保育、医療、介護など女性たちの政治への怒りの声が相次ぎ、「日本共産党の躍進で、国政・都政を変えよう」と熱気あふれる集会となりました。



新宿一般労組でボランティア相談員をやっている女性は、育児介護支援法はあるが抜け道だらけであることを実例で告発し、「女性が生き生きと働ける社会に」と発言。「保育園に入りたく待機児童をなくそう」との女性は、保育園に入れない待機児童がどんどん増えていて、苦勞しながら区議会への陳情署名活動に取り組んだ経験を報告しました。

新宿民商の女性は、所得税法56条により、業者婦人の労賃が給与として認められず、ただ働きさせられている実態を告発。76歳の夫を介護している女性は、介護の苦勞とともに、保険料・利用料・医療費などで月6万円以上の重い負担となっていることを述べ、介護保険の抜本的改善、後期高齢者医療制度の廃止、75歳以上の医療費の無料化などを訴えました。

続いて、田村智子さん（党都委員会副委員長）が講演し、国民に痛みを押しつけ、大企業の金儲けばかり応援してきた自民党政治を告発し、「日本共産党を大きく伸ばして、新しい政治をいっしょにつくりましょう」と訴えました。そして、大山とも子都議と富田なおきが、都政・国政での日本共産党の躍進を訴えました。

会場では参加者40人以上から、政治への切実な願いがカードに書いて寄せられました。なんととして日本共産党の躍進をかちとり、女性の願いにこたえる政治の実現を、と決意を新たに「つどい」でした。



「つどい」の後は、みんなで宣伝

## 千代田 都政問題を考える女性のつどい

4月23日、千代田区の日本共産党女性後援会などの主催で、「都政問題を考える女性のつどい」が開かれました。日本共産党の曾根はじめ都議が、「ゆがんだ都政を変えるチャンスなの都議選」と講演。「都営住宅はなぜ建たないの？」「雇用問題の政策は？」などの質問に答えました。富田なおきと牛尾こうじろう千代田地区都政対策委員長が、国政・都政を変えるために全力をつくす決意を述べました。



後援会のみさんから、鯉のぼりをあしらった手作りのプレゼントをいただき、感激しました

51回目の原水爆禁止国民平和大行進が、6日スタートしました。5月7日、港区役所からの行進に参加。雨の中、バスから窓を開けて手を振る人など、予想以上の激励を受けました。4月5日、オバマ米大統領がプラハで、「核兵器を使用したことのある唯一の核兵器保有国として、米国は行動する道義的責任がある」と演説し、歴代大統領で初めて原爆投下の責任にふれ、「核兵器のない世界」をめざすと明言しました。

日本共産党の志位和夫委員長はこの演説を歓迎し、駐日大使を通じてオバマ大統領に、核兵器廃絶の国際条約を結ぶために積極的なイニシアチブを發揮することを求める書簡を送りました。今月、国連本部で開かれた核不拡散条約（NPT）再検討会議準備委員会は、「核兵器の全面廃絶に対する核兵器保有国の明確な約束」の復活を含む議題案を全会一致で合意しました。世界と日本の長年の運動の積み重ねが、「核兵器のない世界」をめざす大きな流れをつくっています。にもかかわらず、いまだに「核抑止」論に固執する日本政府の異常さも際立っています。被爆国日本で、「核兵器廃絶めざす国際交渉の開始を」の声を大きく広げましょう。



日本共産党衆議院東京1区  
国政対策委員長・若者相談室長

# 富田なおき

事務所ニュース

20 2009.5.17  
発行：富田なおき事務所  
〒162-0065 新宿区住吉町11-25  
TEL 03-3357-3392 FAX 03-3353-4912  
E-mail:tomita-naoki@nifmail.jp





巨大な宮御輿。担ぎ手の左から3番目が富田（写真上）。町会の御輿を担ぐ富田（写真右）



## 神田祭に参加しました

5月8〜10日、地元の神田祭（本祭りは2年に1度）に参加しました。

町内の皆さんには新参加者の私を温かく受け入れていただき、町会の神輿に加え、巨大な宮神輿も町の皆さんと一緒に担がせていただきました。

すでに肩はぼろぼろです。息子も、従兄弟と一緒に、太鼓巡行や子ども神輿で参加させていただきました。

この町で生まれ、あるいは長年住み続けている方々の、かつて「天下祭」といわれた、今も日本三大祭に数えられるお祭りへの誇りと愛着をあらゆる場面で強烈に感じました。

何より、本当に楽しませていただきました。

息子は、必死に担いでいる父親の姿を間近で見て、「大きくなったら、お祭りでもみこし持つ」と言っていたように、楽しみが一つ増えました。

## 各地で演説会開催

新宿・落合南地域の演説会には50人が参加。大山とも子都議とともに訴え、「特養ホームがあまりにも少ない」など切実な要望が出されました。新宿・牛込北地域の演説会には80人が参加。大山都議、田村智子さん（党都委員会副委員長）とともに、国政・都政での日本共産党の躍進を訴えました。

港区・青山のつどいには、おおつか未来さんと一緒に参加。「高齢者に対してふだんどう考えてるの？」などの質問が出され、“本音トーク”でたいへん盛り上がりました。

新宿・落合南地域の演説会（4月26日）



新宿・牛込北地域の演説会（4月28日）



港・青山のつどい（5月2日）



## 第80回 メーデー

## 「たたかえば、勝利できる！」 「連帯し、声をあげよう！」

5月1日、汗ばむ陽気のなか、代々木公園でおこなわれた中央メーデーに参加しました。

「派遣切りは無効」との命令をかちとつた労働者の「たたかえば、勝利できる」「連帯し、声をあげよう」との発言に、拍手とかけ声が広がりました。

式典の後、急いで日本共産党本部横に移動し、デモ行進のみなさんを宣伝で迎えました。牛尾こうじろうさん、おおつか未来さんと一緒に、マイクを握りました。



東京土建港支部のみなさんと



新婦人港支部がつくったデコレーション



日本共産党本部横でデモ隊を迎える

多くの方々が手を振り、拍手や声援で応援してくれました。青年の参加者が増えていることを、はつきり実感できました。

この日は、全国357会場で地方メーデーがおこなわれました。場所はそれぞれでも、たとえメーデー会場に來られなくても、全国で世界中で、人間として働き続けたいという要求を掲げてがんばっている労働者たちがいること、仲間がいるということを感じることができたメーデーでした。

くらし、雇用、福祉をまもる国政と都政を

## 日本共産党演説会のご案内



5月20日(水)午後7時開会

有明コロシウム

りんかい線「国際展示場駅」より徒歩5分  
ゆりかもめ「有明テニスの森駅」より徒歩8分

志位和夫委員長がお話します

富田なおき、大山とも子都議、牛尾こうじろうさん、おおつか未来さんも壇上に

各地域から会場へ行くバスもあります。くわしくは、日本共産党の各地区委員会に電話でお問い合わせください。

千代田地区委員会 03-3294-8411

港地区委員会 03-3455-0051

新宿地区委員会 03-3357-3534